

社会への取り組み

従業員の成長～一人ひとりが能力を最大限に発揮できる職場づくり

人権の尊重

当社グループは、人種、信条、宗教、国籍、身体的特徴などの理由で嫌がらせや差別を受けない健全な職場環境を確保します。

多様性の尊重

当社グループは、企業の持続的成長の源泉は人材であり、一人ひとりが能力を最大限発揮し成長することが重要と考えています。

取り組みの一つとして、外国人技能実習生を受け入れている尾張整染(株)では、現場での翻訳辞書や翻訳機の設置、共用部(食堂・トイレなど)や配布書類での実習生の母国語の記載など、働きやすい環境づくりを心がけています。

今後も、性別・年齢・国籍を超えて多様な人材がいきいきと活躍できる環境をつくっていくことを大切に取り組んでいきます。

人事データ(国内グループ)

各年度5月末時点

項目/性別/年度	2020	2021
従業員数(名)	男性 1,210	1,156
	女性 569	544
平均年齢(歳)	男性 46.6	47.4
	女性 41.9	43.5
平均勤続年数(年)	男性 15.8	16.6
	女性 12.1	12.5
新卒採用者数(名)	男性 19	10
	女性 14	7
障がい者雇用比率(%)	1.26	1.71
女性管理職比率 [※] (%)	11.4	11.1

※ 国内グループ会社の係長職以上に相当する社員の中の女性の割合。

人材育成

当社グループの全社員を対象に階層別、役割別、選択型などに区分された様々なカリキュラムを用意しています。

住江織物(株)では、入社後1ヵ月間を集合研修とオンライン研修、5～9月までの5ヵ月間はOJT[※]研修期間として研修を実施しています。入社3年目までを若手と位置づけ、新人の配属部署の所属長・OJT担当者は3年間の育成計画を作成し、それに基づき指導を行います。

※ OJT: On-the-Job Trainingの略。職場で実務を経験しながら行う従業員の職業教育のこと。

研修受講者数

(2020年度)

研修体系/受講者数(名)	計	男性	女性	
階層別、役割別 選択型(スキルアップ)	オンライン 研修	164	111	53
	集合研修	16	13	3
選択型(自己啓発)	通信教育	119	87	32
	語学研修 (オンライン)	25	19	6
	語学研修 (通学)	1	1	0

Topics

オンラインで
スキルアップ研修を実施

外部から講師を招き、業務の効率化に役立つWord、Excelについての研修をオンラインで行いました。午前・午後の部で違う研修内容を実施し選択制にしたことで、受講者はより必要な内容について学ぶことができました。国内、海外問わず各グループ会社から多数の申し込みがあり、午前に81名、午後に62名の参加となりました。「移動時間がかからないのがよかった」や「職場で参加するよりも自宅の方が集中できた」など、オンライン特有のメリットをあげる声が多かったです。

参加者の感想



住江織物(株)
車両営業部
大阪車両営業グループ
多田 凌也

すぐに仕事で活用できる内容であり、丁寧でわかりやすい講義だったので、短時間でも知識を深めることができました。今後もこういったスキルアップの機会があれば積極的に参加し、業務の効率化に結びつけていきたいです。

Topics

「次世代育成面談」を実施

住江織物(株)では、入社6年目の若手社員6名を対象に「次世代育成面談」を実施しました。人事第3部会での意見を反映し、今回は1名につき2回面談を行いました。1回目は若手社員自らが話を聞きたい先輩社員を指名し、先輩社員の若手の頃の悩み、目標、仕事への取り組み方、現在の想いなどを聞き、アドバイスをもらいました。2回目は、現在の業務や今後のキャリアについて約1時間、人事部長と面談を行いました。

対面またはオンラインで、普段交流がない遠隔地の先輩社員や人事部長と話すことで、若手社員からは「貴重な体験であり、モチベーションが上がった」「自身の業務に感じていることを話すことによって、気持ちや意識の棚卸ができてスッキリした」という感想がありました。また、先輩社員からは「自分を振り返るよい機会が刺激になった」「近い世代の社員同士での交流・意見交換の機会があまりないので繋がりが感じられてよかった」という感想があり、双方にとって有意義な機会であることがわかりました。また、人事部長からも「貴重な経験ができた。『歩き回る人事部長』をこれからも継続していきたい」という発言がありました。

次年度以降も、若手社員の面談を継続的に実施し、若手社員が自らの目標を再認識し、成長する後押しができるような体制づくりに力を入れていきます。



対面での「次世代育成面談」の様子

両立支援

当社グループでは、男性社員の育児休業取得を促進するため、対象者本人とその上司に育児休業に関する規程を案内しています。今年度は初めて3名の男性が育児休業を取得しました。引き続き取得者の増加を目指し、両立支援や働きやすい職場環境づくりに取り組んでいきます。

育児・介護を支援する制度の取得者(国内グループ)

項目/性別/年度		2019	2020	
育児休業関係	休業取得者数(名)	男性	0	3
		女性	11	12
	休業復帰者数(名)	男性	0	3
		女性	5	11
短時間勤務取得者数(名)	男性	0	0	
	女性	9	17	
介護休業関係	休業取得者数(名)	男性	4	2
		女性	6	2
	短時間勤務取得者数(名)	男性	0	0
		女性	0	0
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ取得者数(名)	男性	0	0	
	女性	0	0	

労働安全衛生

労働時間管理

長時間労働改善の推進

CSR推進委員会のもと設置している人事第1部会では、労働時間の現状把握を定期的に行い、その結果を踏まえ長時間労働改善の検討を行っています。コロナ禍で一部の事業所では在宅勤務を実施していますが、在宅勤務は勤務時間が長くなりやすい一面もある上、正確な時間管理の把握が難しい課題があります。この課題の解決策の検討と、引き続き出勤時刻と在宅勤務時間の把握、ノー残業推進メッセージの発信を行います。また、長時間労働の傾向がある社員とその上司への面談の実施など、長時間労働改善に取り組んでいきます。

有給休暇取得については、前年度より取得率が上がりました。

有給休暇取得実績(国内グループ)

項目/年度	2019	2020
年次有給休暇取得率(%)	56.6	59.4

S 社会への取り組み

Social 住江織物グループの労働安全衛生推進

重大事故発生について

当社グループでは、2020年12月に住江テクノ(株)滋賀工場において労災死亡事故が発生しました。この事故を重大に受け止め、再発防止に向けて、安全衛生活動を全社一丸となり進めています。

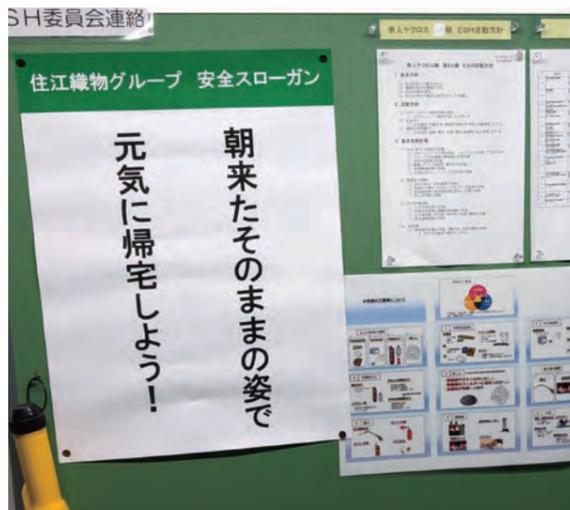
住江織物グループ 安全宣言

住江織物グループは、企業行動基準「第2章第4節 安全で健康的な職場環境の確保について」において、「すべての事業活動の全プロセスにおいて、人の安全と健康の確保を最優先します」と謳っています。

また、「第1項 労働災害の撲滅」において、「人の安全と健康は何物にも換えることは出来ません。労働災害の撲滅には、関係法令はもとより、安全衛生に関する社内ルールの遵守が大前提です。日々の業務遂行において、基本を遵守し、危険予知の感性を育む、安全衛生教育を徹底して行います」としています。

昨年12月の労災死亡事故を受けて、私たちはもう一度この企業行動基準を徹底すべきと考えます。住江織物グループ、全職種において、「安全の3原則」、1.整理整頓、2.点検整備、3.標準作業の徹底を図ります。

「安全第一」安全は何物にも優先します。



「住江織物グループ 安全スローガン・ポスター」の設置 (国内・海外製造拠点)

安全衛生方針・安全行動規範

中央安全衛生部会では、グループ会社共有の安全衛生方針と安全行動規範を、2021年6月1日に制定しました。

また、「STOP6重大災害を防ぐ18の鉄則」として、グループ会社で共通した災害についての防止策を策定し、周知しました。労働災害の未然防止に向けて全員参加で取り組んでいます。

住江織物グループ 安全衛生方針
「安全第一」安全は、何物にも優先する。
住江織物グループでは「安全」を経営の最重要課題と位置づけ、すべての事業活動の全プロセスにおいて、人の安全と健康の確保を最優先し、労働災害を未然に防止するとともに、快適な職場環境を形成します。

住江織物グループ 安全の3原則

- 整理整頓
- 点検整備
- 標準作業の徹底

住江織物グループ 安全行動規範

- トップは安全文化向上に率先垂範で行動する
- 安全への風土づくりの醸成をおこなう
- 適用法令、社内規定を遵守する
- 全員参加型で職場の作業環境の改善を目指す
- 危険予知による安全の先取りをおこなう
- 安全教育、訓練の実施をおこなう

住江織物グループ 安全目標

- 労働災害事故発生完全ゼロ

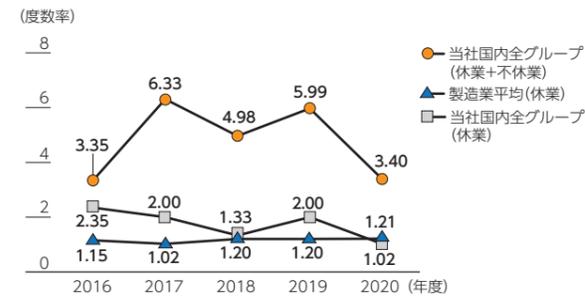


重大災害の分類による防止対策ポスター

労働安全衛生の進捗について

当社グループでは、中央安全衛生部会において、各グループ会社の安全衛生推進者が年2回集まり、労働災害の未然防止についての意見交換や活動報告を実施しています。今年度は、労働災害件数・休業災害件数とも減少しましたが、重大事故が発生しました。リスクアセスメントを強化し、事故の起こらない環境の整備に努めます。

国内グループ 労働災害度率*推移



出典：厚生労働省「令和2年度労働災害動向調査」
* 労働災害度率：100万労働時間あたりの労働災害による死傷者数

住江テクノ(株)の取り組み

安全衛生推進体制の強化

労働災害の未然防止活動に対する体制・役割を明確化

従来より、安全衛生委員会が危険箇所のチェックと未然防止活動を行っています。2020年12月の事故を受け、職場実行委員会と分科会と安全衛生委員会のそれぞれの役割と目的を明確化し、推進体制の強化を図っています。

安全衛生資料の社内イントラネット管理

体系的な情報の整理と記録の更新による進捗状況の把握

安全衛生活動を一元管理するために、安全衛生委員会が主体で策定する安全衛生関連の資料を社内イントラネットで確認できるように構築しました。最新の資料、進捗状況を把握できる資料を整理しています。また、各グループ会社の安全衛生活動の参考になるように情報を公開しています。

安全衛生に関する資料の社内周知、安全衛生教育資料の更新

従業員が職場で守るべきこと、安全衛生に対する知識の周知

各職場に安全ボードを設置し、安全衛生に関する資料を従業員全員に周知し、安全に対する意識を啓発しています。また安全衛生教育資料を更新し、ルールの遵守、問題が起きた時の対応などについて指導しています。



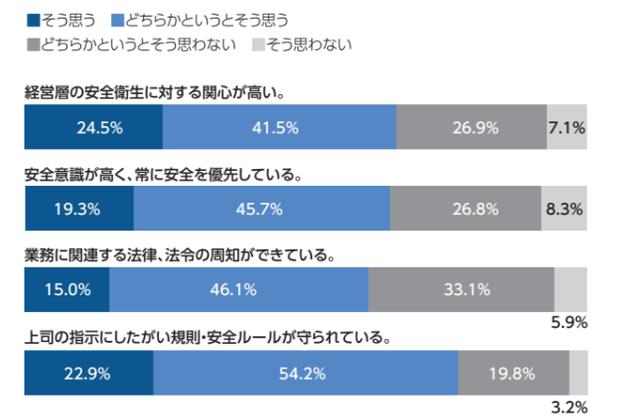
安全衛生教育資料

「従業員安全意識アンケート」の実施

従業員の声を反映させた安全衛生活動の推進と進捗状況の確認

2021年3月に安全・衛生教育を実施後、理解度テストと併せて、「従業員安全意識アンケート」を実施しました。従業員の意見を安全推進活動に活かすとともに、安全意識の向上に役立てます。毎年アンケート調査を実施し、従業員に安全意識を常に持つように促し、マネジメントとしても意識の変化を捉えます。

職場の安全意識に関するアンケート結果(例)



S 社会への取り組み

Social 従業員の活躍～一人ひとりが能力を最大限に発揮できる職場づくり

女性活躍推進

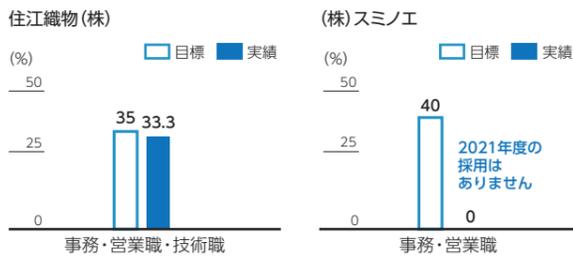
女性活躍推進に関する行動計画の進捗を報告します。

1. 計画期間：2020年6月1日～2022年5月31日
2. 目標と進捗状況

目標 1 新卒採用における女性採用比率

住江織物(株)・・・35%以上(事務・営業職、技術職)
(株)スミノエ・・・40%以上(事務・営業職)

新卒採用(2021年)



女性活躍インタビュー

Voice

住江織物(株) 産業資材事業部門
カーペット・用品事業部 調達部用品グループ
中山 圭子



現在の仕事内容を教えてください

自動車用品の製品部材の貿易事務を担当しており、書類作成・確認、各種申請の手続き、社内外とのスケジュール調整が主な仕事です。対応期日が決まっており、煩雑な書類手続きも多いですが、スムーズな取引が行えるよう日々取り組んでいます。

また、語学を活かすことが多く、お取引先様と自社との間に立って、貿易取引を円滑に進める「仲介・調整役」を担うことでコミュニケーション能力が上がり、専門スキルを活かしながらステップアップできることも、この業務の魅力と感じています。

働きがいのある職場

私は結婚・出産後も仕事を続けていきたいと思っていました。通勤時間が長く、子供もまだ小さいため、今は時短勤務を利用しています。また、在宅勤務の活用も両立する上でとても役立っており、ありがたく感じています。

時短勤務であっても、サポート業務ではなく、責任のある仕事を任せられることも、やりがいや仕事を続ける原動力になってい

目標 2 仕事と家庭を両立しながら男女がともに活躍できる環境づくりに向けた取り組みの実施

今年度は、時差出勤・在宅勤務の実施が仕事と家庭の両立に繋がり、今後の継続を希望する声が多く見られました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として開始した暫定的制度ではありますが、規程化への検討を行ってまいります。

目標 3 男性社員の育児休業取得者 1人以上 女性社員の育児休業取得率 100%維持

2020年に3名の男性社員が育児休業を取得し、目標を達成できました。また、女性社員の育児休業取得率も100%を維持しています。今後も、対象者とその上司への育児休業制度および両立支援の周知・啓発を積極的に行ってまいります。

ます。困難なことや時間的なことで苦労もありますが、職場の方の協力や理解があり、私もそれに応えて業務を全うするように常に心がけています。

仕事と家庭のメリハリをつけて

子供を持つようになり、時間の使い方についてより考えるようになりました。

仕事では、子供の体調によって急に休暇をとらなければならないこともあり、優先順位を頭に入れて、効率的に業務を行うことを意識しています。勤務時間内に業務をすべて終わらせるため、明日やることをリストアップしてから退社し、当日はすぐに業務に取り組めるようにしています。

子育てでは、離れている時間が長い分、子供と過ごす時間は全力で向き合うことを心がけています。今の日課は、朝食を家族全員で食べることで、夜は夫と子供たちの話をし、子育ての不安やストレスを夫婦で共有することです。お互いに協力し合えるようにたくさん話し合いをしたこともよかったと思います。何より自分の健康が家族にも影響するので、早寝早起きの生活リズムを大切にしています。

今は手探り状態で前に進んでいますが、家族や仕事で携わる方と協力しながら、高い成果を上げることに注力し、さらなるスキルアップを目指し頑張っていきます。

シニア社員の活躍

Voice

住江テクノ(株)
製造部 タフト課 課長
寺下 彰彦



入社してから現在までを振り返ってみて

入社後すぐにタフト課に配属されて以来、ずっと現場に打ち込んできました。長い社歴のほとんどをタフト課で過ごしています。ただ、3年間ほどは外注工務とあって、協力会社を訪問し、製品の価格や納期を交渉する業務にも携わりました。入社20年経ってからの畑違いの業務で慣れるまで時間がかかりましたが、仕事仲間や妻に随分と助けられ、とても感謝しています。当時は仕事が辛いと感じることもありましたが、社外の方と話せる貴重な機会でしたし、現在の業務にも役立っているため、今となっては自分の成長に繋がるよい経験であり、転機だったと思っています。現場に戻ってからは、技術を継承するため次世代の教育に力を入れています。従業員の適性を把握し、個人に合った教育ができるように会社全体で取り組んでいます。色々ありましたが、この会社に入社してよかったと思っています。

仕事をする上で心がけていること

現場の整理整頓とコミュニケーションです。整理整頓は従業員の安全を守ることに繋がる上、作業効率も上がります。事故が起こらないように細心の注意を払って業務を行っています。

コミュニケーションに関しては、仕事が辛い時でも人間関係がよければ続けられると自分自身が感じたからです。できるだけ職場では多くの人に声をかけ、その人が楽しめる話題を選ぶようにしています。今も昔もタフト課は雰囲気がよく、ありがたく感じています。

シニア社員へのメッセージ

とにかく健康に気をつけてもらいたいです。私はこれまで大きな病気も怪我もなくやってきましたが、適度にストレスを発散させることが健康の秘訣だと思っています。以前までは外に食事に行くことで発散させていましたが、コロナ禍の今は家のなかで楽しむようにするなど、工夫しています。

Message

住江テクノ(株)
製造部 タフト課 タフト係
新崎 英二



同僚から寺下さんへのメッセージ

寺下課長はタフト課の要であり、いつも元気でユーモアがあり現場では安全第一の姿勢でパワフルに働いていらっしゃいます。私が入社して30年以上の付き合いですが、寺下課長の背中を見て育ったので、若いころは兄のように、今では尊敬できる上司だと感じています。

海外事業の現地社員の紹介

Voice

Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
タナントン セーナ

入社日2020年8月17日



入社した理由

興味深く安定した会社だと思い、この会社の一員になることを決意しました。また、仕事で日本語を学ぶ機会もあり、新しい経験への挑戦だと思っています。

この仕事をしていてよかったと思うこと

よい同僚に恵まれていることです。おかげで毎日楽しく仕事ができていると思います。

日本人スタッフと上手くコミュニケーションを取る秘訣

まず、よい聞き手となり相手が伝えようとしている意図を正確に捉えるように心がけています。大切な語彙については定期的に復習し、暗記するようにしています。

自分の国で好きなところ

好きな街はSuminoe Koide (Thailand) Co., Ltd. のあるチェンマイです。料理が美味しいですし、有名な観光地もたくさんあります。また、冬(乾期)は天気がよく、景色がきれいです。

S 社会への取り組み

Social 地域社会とのコミュニケーション(社会貢献活動)

住江織物グループでは、各事業所単位で地域に根ざした社会貢献活動を行っています。

インターンシップの受け入れ

インテック(株)は関西ラボラトリー(株)の協力を得て、2021年3月15~19日の間、大阪工業技術専門学校からインターンシップの受け入れを行いました。モノづくりを通じて個人と企業と社会の関係を学ぶことを目的に、インターンシップ生には独自のインテック(株)ガイダンスを作成してもらいました。最終日には研修で得たことを発表する機会を設け、感想と感謝の言葉をいただきました。



インターンシップ生の感想(発表用資料から抜粋)

テレトンへの募金

Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.では、2020年12月に社員からの募金をテレトンへ寄付しました。テレトンとは、障がいのある児童を支援し、無償のリハビリテーション施設を運営する南米の非営利団体であり、イベントの実施やチャリティ番組の放送を通して寄付を募っています。募金への返礼として、テレトンの施設に通っている子供から記念品(フォトスタンド)を贈呈され、人事部が代表して受け取りました。また、不遇な子供や若者への支援に取り組む非営利団体 Casa de Jesús(カサ デヘス:キリストの家)へ、食品や生活用品などを寄付する取り組みも行っています。



記念品贈呈の様子

「エンジェルツリー」プログラムに参加

Suminoe Textile of America Corporationでは、毎年アメリカ救世軍が主催する「エンジェルツリー」プログラムに参加しています。「エンジェルツリー」プログラムとは、恵まれない子供たちと個人や企業を繋げ、プレゼントする機会を提供する活動です。2020年12月には75家族へクリスマスプレゼントを寄付し、アメリカ救世軍から感謝状とお礼のメッセージをいただきました。

この活動のほかにも、障がい者、高齢者、ホームレスの人々へ食事を届けるための寄付や、サウスカロライナ州の子供施設へキャンディバッグをプレゼントする社会貢献活動を継続的に実施しています。



アメリカ救世軍からの感謝状

「しながわ寺子屋」に参加

住江織物(株)東京支店では、未来協育推進機構が運営するイベント「しながわ寺子屋」に参加し、近隣の中学校でのキャリア教育に協力しています。2020年11月には品川区立荏原平塚学園を訪れました。第7学年の生徒ら10名に仕事内容の説明をし、先生をお客様に見立てて簡単なインテリアコーディネート体験を行いました。終了後には生徒から、「お客様の要望にそってコーディネートを組むことが難しかった」「今回の体験を通して自分の将来を考えていこうと思った」などの感想をいただきました。



しながわ寺子屋の様子